

この情報は、Thomson Innovation および Thomson Data Analyzer バージョン 6 以降の正しいアクセスおよび使用に役立ちます。追加の質問がある場合は、テクニカルサポート (<http://science.thomsonreuters.com/support/>) までお問い合わせください。

THOMSON INNOVATION ワークステーションの要件

プロセッサ	<p>最小: 1.7 GHz</p> <p>推奨: 2.4 GHz</p>
メモリ (RAM)	<p>最小: 2 GB (64 ビットシステム) または 1 GB (32 ビットシステム)</p> <p>推奨: 3 GB (64 ビットシステム) または 2 GB (32 ビットシステム)</p>
ディスク容量	<p>125 MB の空き領域</p> <p>Windows は、オペレーティングシステム (仮想メモリ) で追加のディスク空き領域を使用します。</p>
オペレーティングシステム	<p>Thomson Innovation の推奨オペレーティングシステムは Microsoft Windows® 7 です。これまでのテストで Thomson Innovation は Windows® 8 で正常に動作することを確認していますが、現時点では Windows 8 はサポートしていません。</p> <p>他のオペレーティングシステム (Macintosh OS X® や Linux® など) はサポートしていません。</p>
ブラウザのサポート	<p>Microsoft Internet Explorer® 9、10、11 はサポートしています。所属機関のネットワークでセキュリティスキームを使用している場合は、Microsoft から提供されている最新のセキュリティアップデートを適用してください。</p> <p>Mozilla Firefox® 38 ESR (延長サポート版) はサポートしています。Firefox ESR の詳細: http://www.mozilla.org/firefox/organizations/faq/</p> <p>Google Chrome® の最新バージョンはサポートしています。</p> <p>注意: Google Chrome では引用マップは利用できません。</p> <p>他のブラウザ (Safari®, Internet Explorer 8 以前など) はサポートしていません。</p>
Java	<p>Thomson Innovation 引用マップを表示するには、Oracle の Java® ランタイム環境 (JRE) 1.5.0 (バージョン 5) 以降が必要です。JRE の最新バージョンは、Sun のダウンロードサイト (http://java.com/ja/download/) からダウンロードできます。</p> <p>注意: Google Chrome は引用マップの実行に必要な Java プラグインをサポートしなくなりました。</p> <p>Oracle JRE は他のアプリケーションで使用している Java のバージョンに影響を与える可能性があるため、インストールの前にシステム管理者に確認してください。問題が発生した場合、通常はブラウザ設定を変更することで問題を解決できます。</p> <p>バージョン 1.3x から 1.6x 以降にアップグレードする場合は、JRE の認証メカニズムが変更されているため、アップグレードする前にネットワーク管理者に確認してください。JRE のルールセットの調整が必要になることがあります。</p> <p>* プロキシ設定を使用している場合は、Java コントロールパネルで JRE にプロキシ設定を手動で追加する必要があります。</p>
PDF リーダー	<p>Adobe Reader® プラグインの現行バージョンまたはそれと同等のバージョンがブラウザにインストールされている必要があります。Adobe Reader は、Adobe のダウンロードサイト (http://get.adobe.com/reader/) からダウンロードできます。</p> <p>.PDF ドキュメントを許可するようにファイアウォールを設定する必要があります。</p> <p>Adobe Reader プラグインのバージョンは、Web コンポーネントに依存します。*.thomsoninnovation.com に対して適切なセキュリティを設定する必要があります。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● Javascript オプションを有効にします。 ● ブラウザでの表示を有効にします。 ● [Web 表示用に最適化を許可] をオンにします。 ● 環境のダウンロード設定 (クォータ) を確認します。

THOMSON DATA ANALYZER ワークステーションの要件

プロセッサ	<p>最小: 1.2 GHz</p> <p>推奨: 3.0 GHz</p> <p>Thomson Data Analyzer 64-bit PRO を使用するには 64 ビットプロセッサが必要です。</p>
メモリ (RAM)	<p>最小: 3 GB</p> <p>推奨: 8 GB (64 ビットシステム)</p>
ディスク容量	<p>プログラムのインストールに 80 MB</p> <p>この他に、データファイル用の空き領域が必要です。データファイルのサイズは大きくなることもあるため、データファイルの格納用に少なくとも 500 MB の空き領域を確保することを推奨します。</p> <p>より高速なディスクを使用すると、大規模なデータセットをロードするときのパフォーマンスが向上します。</p> <p>Windows は、オペレーティングシステム(仮想メモリ)で追加のディスク空き領域を使用します。</p>
オペレーティングシステム	<p>Thomson Data Analyzer は、Microsoft Windows 7 および Windows 8 で動作します。Thomson Data Analyzer には、32 ビットシステム用と 64 ビットシステム用のバージョンがあります。Windows Server へのインストールはサポートしていません。</p> <p>Thomson Data Analyzer を使用するには、管理者アカウントは必要ありません。ただし、管理者アカウントで Thomson Data Analyzer をインストールして有効にする必要があります。</p> <p>他のオペレーティングシステム (Macintosh OS X や Linux など) はサポートしていません。</p>
ブラウザのサポート	<p>Microsoft Internet Explorer 9 以降が必要です。</p> <p>強化された要約シートには、Internet Explorer 10 (またはそれ以降) が必要です。</p>
ソフトウェア要件	<p>TDA Company Report、Technology Report、Company Comparison Report、TDA Pivot Charts Report、Super Profile、および一部の TDA スクリプトを使用するには、Microsoft Excel® 2007 以降が必要です。</p>
Java	<p>Thomson Data Analyzer の一部の Visual Basic® スクリプトを使用するには Java が必要です。Java のバージョン (32 ビットまたは 64 ビット) は Thomson Data Analyzer のバージョンと一致している必要があります。</p> <p>バージョン 1.3x から 1.6x 以降にアップグレードする場合は、JRE の認証メカニズムが変更されているため、アップグレードする前にネットワーク管理者に確認してください。JRE のルールセットの調整が必要になることがあります。</p>

THOMSON INNOVATION のブラウザ構成

ブラウザ設定

ブラウザのプライバシー設定は [中] にしてください。

その他の必要な/推奨するブラウザ設定:

- すべてのポップアップブロック機能を無効にするか、Thomson Innovation からのポップアップを許可します。
- Javascript を有効にします。
- Java アプレットを有効にします。
- ActiveX コントロールおよびプラグインを有効にします。
- セッションのクッキーとサードパーティのクッキーの両方を許可します。
- ダウンロードを有効にします。
- ダウンロードの保存先指定を有効にします。
- XSS フィルターを無効にします (8.0、他のソフトウェアに影響しない場合)
- SmartScreen フィルター機能を無効にします (8.0、監査に使用しない場合)
- 一時ファイルのディスク領域は 300 MB 以上に設定します。

Internet Explorer を使用する場合、検索フォーム、検索結果セット、レコード表示は Internet Explorer で設定しているフォントサイズで表示されます。Internet Explorer のフォントサイズ設定を変更するには:

1. [表示] - [文字のサイズ] をクリックします。
2. 文字のサイズを選択します。

この変更は次回ログインするまで反映されません。Internet Explorer のバージョンによっては、[Alt] キーを押して [表示] メニューを表示する必要があります。

ポップアップ

Thomson Innovation はポップアップを使用します。サービスを使用するには、ポップアップブロック機能で Thomson Innovation Web サイト (www.thomsoninnovation.com) からのポップアップが許可されていることを確認してください。

ポップアップブロック機能は、ブラウザ、デスクトッププログラム、セキュリティパッケージなどに含まれています。

プロキシ設定

プロキシサーバーを使用して Thomson Innovation にアクセスできます。プロキシサーバーを使用してインターネットに接続するようにブラウザを設定すれば、Thomson Innovation にアクセスできます。

Cookie

Thomson Innovation は Cookie を使用します。Cookie を利用できるかどうか不明な場合は、システム (セキュリティ) 管理者までお問い合わせください。セッション (ファーストパーティ) のクッキーとサードパーティのクッキーの両方を許可する必要があります。

THOMSON INNOVATION ネットワーク環境の要件

SSL (Secured Sockets Layer)	<p>Thomson Innovation は、Thomson Innovation との間でやり取りする要求を 128 ビットで暗号化する SSL (Secured Sockets Layer) 接続を提供しています。SSL のデフォルト設定は [オフ] です。</p> <p>SSL 接続を利用する場合は、Thomson Innovation にアクセスした後、[ユーザー設定] セクションの [基本設定] ページで SSL を [オン] にします。</p> <p>セキュリティ環境で Black Board セキュリティサーバーを使用している場合は、Thomson Innovation を使用するための最適な設定の実装についてテクニカルサポートまでお問い合わせください。</p>
-----------------------------	---

ネットワークファイアウォール	<p>機関および使用場所に厳重なファイアウォールまたはセキュリティ設定が施行されている場合は、アクセスするために Thomson Innovation (www.thomsoninnovation.com および info.thomsoninnovation.com) を「信頼済みサイト」として追加する必要があります。信頼済みサイトに追加してもアクセスできない場合は、テクニカルサポート (http://science.thomsonreuters.com/support/) までお問い合わせください。</p>
----------------	---

IP セキュリティ	<p>Thomson Innovation はダイナミック IP アドレストポロジを使用します。ルーティングセキュリティスキームをこのトポロジ用に調整する必要があります。</p> <p>www.thomsoninnovation.com に対して IP アドレスに基づくセキュリティプロファイルを使用する場合、アクセスプロファイルに (IP アドレスではなく) 完全修飾ドメイン名のみを記述する必要があります。</p> <p>IP アドレスを指定するセキュリティスキームを使用する必要がある場合は、ダイナミック IP 設定を利用するエイリアスプロファイルを使用してください。</p> <p>IP 認証 (クイック起動) でアクセスを行うには専用の IP 範囲が必要です。</p>
-----------	--

パーソナルファイアウォール	<p>デスクトップでパーソナルファイアウォールを使用している場合は、リアルタイムスキャンを無効にすることを推奨します。リアルタイムスキャンを有効にしていると、Thomson Innovation でタイムアウトが発生することがあります。</p>
---------------	--

THOMSON INNOVATION のその他の留意事項

タイムゾーン	注意: Thomson Innovation の日付と時間は CT (米国中部時間) を基準にしています。
--------	---

タイムアウト間隔	<p>Thomson Innovation セッションのタイムアウト間隔は 120 分です。アクティブでない状態が 120 分間続いた後に Thomson Innovation にリクエストを送ると、自動的にログアウトされ、再度ログインするまで利用できません。自動ログインが有効な場合、自動的にログインしなおします。</p> <p>120 分間のアクティブでない状態が経過する 2 分前に、[セッションを終了] および [続行] ボタンを含むメッセージが表示されます。セッションをアクティブにして作業を続行するには、[続行] をクリックします。セッションを終了してもかまわない場合は、[セッションを終了] をクリックします。</p> <p>何もしない場合、このメッセージが表示されてから 2 分経過後に自動的にログアウトされます。</p> <p>サイトで操作を行っていても、アクティブでないと判断され、不意にログアウトすることがあります。たとえば、クエリーを作成するためにフィールド検索フォームでフィールドの追加や削除を行っていても、実際にフィールドを選択してクエリーを実行しなければ、アクティブでないと判断されます。また、ヘルプページを表示してページをスクロールしていても、他のページを表示しなければ、アクティブでないと判断されます。つまり、Thomson Innovation に新しいページやページの他の表示を要求しない操作や、情報に対する同様の操作は、アクティブでないと判断され、120 分経過後にログアウトされます。</p>
----------	---